

## 指導力不足教員に対する指導等に関する要綱

## (趣旨)

第1条 この要綱は、京都市立学校及び幼稚園において、指導力に課題があり、児童、生徒又は幼児（以下「児童等」という。）に適切に指導できない教員に対する指導及び研修等について、必要な事項を定める。

## (定義)

第2条 この要綱において指導力不足教員とは、教員として必要な学習指導・生徒指導面の資質や学級（高等学校及び養護学校高等部においてはホームルーム。以下同じ。）の経営能力が不足又は欠如しているため、児童等の心身を傷つけ、又はその指導が保護者の疑問・不安・不信を招くなど、児童等が教育の成果を適切に享受できない状況（以下「教育阻害状況」という。）を生じさせている教員をいう。

## (管理職による実態把握及び校内における指導)

第3条 校長・園長、教頭及び養護学校副教頭（以下「管理職」という。）は、日常の継続的な観察により所属教員の指導力の実態把握に努め、常にその向上を図らなければならない。

2 前項の実態把握の結果、所属教員が指導力不足教員であると思料するときは、校長（園長を含む。以下同じ。）は、当該教員の自覚を促しつつ、管理職の指導によって、当該教員の指導力の改善に努め、教育阻害状況の解消を図らなければならない。

3 前2項における実態把握又は指導の際には、管理職が当該教員の担当する授業や学級を観察する「授業等の記録」（様式1）、学期の始めや終わり等の節目に当該教員が自己の指導状況を評価する「自己チェックシート」（様式2）や管理職による「観察チェックシート」（様式3）を用いるものとする。

4 校長は、指導主事等の学校訪問等による指導を要請することができる。

5 指導主事等は、前項による指導を行うに際し、訪問記録（様式4）を用いるものとする。

## (個別研修についての指導力判定委員会からの意見聴取)

第4条 前条による校内における指導の継続にもかかわらず、指導力の改善が期待しがたいと判断するときは、校長は、校外における特別な研修（以下「個別研修」という。）の実施について、調書（様式5）を添えて教育長に協議するものとする。

2 教育長は、校長から前項による協議があったときは、当該教員に係る教育阻害状況の程度や、当該教員に対し個別研修の実施が必要か否か等を判断するため、当該教員に係る授業等の記録、自己チェックシート及び観察チェックシート等の必要となる資料（以下「授業等の記録等」という。）の提出を校長に求めることができる。

3 教育長は、判断基準の観点と課題(別表)を踏まえ、調書、訪問記録や授業等の記録等から、当該教員が指導力不足教員に該当し、個別研修を実施する必要があると思料するときは、指導力判定委員会に諮り、その意見を聴取するものとする。

このとき、教育長は、指導力判定委員会の意見を聴取する旨を、校長を通じて当該教員に通知する。

4 前項後段による通知を受けた教員は、通知を受けた日の翌日から起算して2週間以内に、校長を通じて意見書（様式6）を教育長に提出することができる。

- 5 教育長は、指導力判定委員会から請求があった場合は当該教員の意見書、調書、訪問記録や授業等の記録等必要な資料を提出しなければならない。

(個別研修の実施)

第5条 教育長は、前条の指導力判定委員会から聴取した意見を踏まえ、個別研修の実施を決定したときは、当該教員の指導力の課題に応じた研修を命じるものとする。

- 2 個別研修を命じられた教員は、自己の指導力の課題を認識し、改善に努めなければならない。

(個別研修後の措置等)

第6条 個別研修終了後の教員について、管理職は、引き続き校内において当該教員の指導力の改善状況に応じた指導を行い、教育長はその状況を指導力判定委員会に報告しなければならない。

- 2 個別研修を受けた教員が、研修終了後もなお十分な指導力の改善がなく、教育阻害状況を生じさせ、又は、生じさせるおそれが顕著なときは、校長は、当該教員に対する措置について、教育長に協議するものとする。

- 3 校長から前項による協議があったときは、教育長は、指導力判定委員会に諮り、その意見を聴取のうえ、当該教員に対して、再度、個別研修を命じ、又は、法令の定めるところにより、必要な措置を講じるものとする。

- 4 第4条第1項から第5項までの規定は前2項のときに準用する。

(その他)

第7条 この要綱の実施に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成15年7月9日から施行する。

(別表)

## 判断基準の観点と課題

「指導力不足教員」の判断基準は、以下の3つの観点からの課題が因果関係で相互に関連し合いながら生じているかである。

1 児童等の行動面
児童等が当該教員の授業等において、以下の行動が継続して見られる。 <input type="checkbox"/> 学習に関心を示さない <input type="checkbox"/> 授業中も私語が多く教員の話をお聴かない <input type="checkbox"/> 教員からの働きかけを避ける <input type="checkbox"/> 授業中の立ち歩きやエスケープをする <input type="checkbox"/> 「教師」反抗が多発する <input type="checkbox"/> 暴力的な言動を行う <input type="checkbox"/> 不登校・別室登校の状況にある
2 児童等・保護者等の心情面
当該教員に対して、以下の心情を抱く。 <input type="checkbox"/> 不信感・不公平感 <input type="checkbox"/> 不安感・失望感 <input type="checkbox"/> 軽視・軽蔑視 <input type="checkbox"/> 威圧感・恐怖感 <input type="checkbox"/> 不潔感・嫌悪感
3 教員の実態面
当該教員の学校や家庭訪問等での教育実践において、以下の実態が客観的に見られる。 <input type="checkbox"/> 授業が教師主導型で一方通行（おもしろくない授業）である <input type="checkbox"/> 児童等の指導内容に関する質問に的確に答えられず放置する <input type="checkbox"/> 児童等の発言・行為の理由をお聴こうとしない <input type="checkbox"/> 児童等への接し方が冷たく愛情を感じられない <input type="checkbox"/> 「ほめる」「叱る」の基準が曖昧でけじめがない <input type="checkbox"/> 児童等への理解が不十分（児童等との信頼関係が希薄）である <input type="checkbox"/> 責任回避・責任転嫁の傾向が強く問題解決には消極的である <input type="checkbox"/> 児童等の問題行動に毅然とした対応ができない <input type="checkbox"/> 威圧するような言動を示したり体罰を行う <input type="checkbox"/> 児童等や保護者に配慮のない言動を繰り返す <input type="checkbox"/> 声かけ等の基本的なコミュニケーションがとれない <input type="checkbox"/> 児童等や学級の様子、課題等を管理職や保護者に連絡しない <input type="checkbox"/> 学習や進路等に関わる連絡や処理がずさんで漏れが多い <input type="checkbox"/> 言葉遣いや身だしなみなどで不快感を与える

学 校 名	学校	教員名	( 歳) 担任・教科等
授 業 日	年	月	日 ( ) 時限 教科

児童等の状況 及び指導状況	
問題点及び 課題	
指導・指示・ 助言内容	
本人の考え	
備 考	

記入者(職名) \_\_\_\_\_ (氏名) \_\_\_\_\_

<留意点>

- ① 授業等を通して、学級の雰囲気や児童等の様子、学習への反応、教員の指導内容・状況を点検・把握する。
- ② 児童等の教育保障、学級経営にあたっての課題や問題点を明らかにし、教員への指導・助言等を行う。
- ③ 教員が現状をどう認識しているかを十分聴取する。特に課題や問題点が見られる場合、それらの課題等を認識し、解決に向けた具体的手立てがとられているかを点検する。
- ④ 指導・助言を行った内容については、次回指導時に当該教員の考えを聴取しながら実践状況を点検する。

1 児童等の状況及び課題

--

2 評価

(A : 強くそう思う B : そう思う C : 十分ではないと思う D : 来ていないと思う)

	評価項目	評価	短評
授業等を通して	① 授業に目標と計画性を持ち、学習の道筋を明確にしている。	A・B・C・D	
	② 教材研究や教材準備を十分に行なっている。	A・B・C・D	
	③ 児童等が興味をもち、主体的に活動する授業を進めている。	A・B・C・D	
	④ 発問、板書、机間指導等、分かる授業をしている。	A・B・C・D	
	⑤ 児童等一人一人の様子を把握し、配慮をしている。	A・B・C・D	
	⑥ 児童等の良いところを積極的に見つけ、ほめている。	A・B・C・D	
生徒指導・学級経営	⑦ 児童等一人一人の思いや願いを把握している。	A・B・C・D	
	⑧ 児童等一人一人の課題や生活背景(家庭・学習面)を捉えている。	A・B・C・D	
	⑨ 児童等の課題を児童等や親の責任に転嫁せず自己の指導課題として捉えている。	A・B・C・D	
	⑩ 保護者の思いや願いを把握している。	A・B・C・D	
	⑪ 児童等同士のトラブル、いじめ等を見過ごさず、積極的に家庭訪問をする等、解決に努めている。	A・B・C・D	
	⑫ 児童等への対応を感情や気分によって左右されない。	A・B・C・D	

3 自己の課題

--

4 今後の手立て等

--

平成 年 月 日 年 組 時限目 (氏名) \_\_\_\_\_

学校名		教員名	( 歳)	担任・教科等	
-----	--	-----	------	--------	--

## 1 児童等の状況及び指導状況

--

## 2 評価

(A:特に優れている B:優れている C:劣っている D:特に劣っている)

	評価項目	評価	短評
授業等を通して	① 授業に目標と計画性があり、学習の道筋が明確である。	A・B・C・D	
	② 教材研究や教材準備が十分に行なえている	A・B・C・D	
	③ 児童等が興味をもち、主体的に活動する授業を進めている。	A・B・C・D	
	④ 発問、板書、机間指導等、わかりやすい授業になっている。	A・B・C・D	
	⑤ 児童等一人一人の様子を把握し配慮ができています。	A・B・C・D	
	⑥ 児童等の良いところを積極的に見つけ、ほめている。	A・B・C・D	
生徒指導・学級経営	⑦ 児童等一人一人の思いや願いを把握している。	A・B・C・D	
	⑧ 児童等一人一人の課題や生活背景(家庭・学習面)を捉えている。	A・B・C・D	
	⑨ 課題を児童等や親の責任にせず捉えている。	A・B・C・D	
	⑩ 保護者の思いや願いを把握している。	A・B・C・D	
	⑪ 児童等同士のトラブル、いじめ等を見過ごさず、積極的に家庭訪問をする等、解決に努めている。	A・B・C・D	
	⑫ 児童等への対応が感情や気分によって左右されない。	A・B・C・D	

## 3 本人の現状認識

--

## 4 課題及びその手立て等(指導助言・改善状況等)

--

## 5 備考(保護者からの意見・苦情等)

--

平成 年 月 日 評価者(職名) (氏名)

## &lt;留意点&gt;

- ① [授業等の記録]などを通して把握していた児童等の状況及び指導状況を総合的に評価する。
- ② また、生徒指導や学級経営の状況については、日常の教員の取組状況の観察や教員との話し込みの内容なども含めた評価を行う。
- ③ 短評欄には、その評価に至った理由やその項目に応じた事項を記入する。
- ④ 課題等については、これまでの指導・助言や改善状況などによる総合所見を記入する。

学校名		教員名	( 歳)	担任・教科等	
-----	--	-----	------	--------	--

## 1 児童等の状況及び指導状況

--

## 2 評 価

(A:特に優れている B:優れている C:劣っている D:特に劣っている)

	評 価 項 目	評 価	短 評
授業等を通して	① 授業に目標と計画性があり、学習の道筋が明確である。	A・B・C・D	
	② 教材研究や教材準備が十分に行なえている	A・B・C・D	
	③ 児童等が興味をもち、主体的に活動する授業を進めている。	A・B・C・D	
	④ 発問、板書、机間指導等、わかりやすい授業になっている。	A・B・C・D	
	⑤ 児童等一人一人の様子を把握し配慮ができています。	A・B・C・D	
	⑥ 児童等の良いところを積極的に見つけ、ほめている。	A・B・C・D	
本人と接して	⑦ 児童等一人一人の思いや願いを把握している。	A・B・C・D	
	⑧ 児童等一人一人の課題や生活背景(家庭・学習面)を捉えている。	A・B・C・D	
	⑨ 課題を児童等や親の責任にせず捉えている。	A・B・C・D	
校長を通して	⑩ 保護者の思いや願いを把握している。	A・B・C・D	
	⑪ 児童等同士のトラブル、いじめ等を見逃さず、積極的に家庭訪問をする等、解決に努めている。	A・B・C・D	
	⑫ 児童等への対応が感情や気分によって左右されない。	A・B・C・D	

## 3 本人の現状認識

--

## 4 課題及びその手立て等(指導助言・改善状況等)

--

## 5 備考(保護者からの意見・苦情等)

--

平成 年 月 日 評価者(職名) 麻城市教育委員会 (氏名) \_\_\_\_\_

&lt;留意点&gt;

- ① 学校訪問当日の状況だけでなく、それまでの【授業等の記録】や校長の報告などもふまえ、総合的な評価を行う。
- ② 生徒指導・学級経営についても、児童等に対する理解度や熱意、保護者対応の状況などを校長や本人から聴取するなかでの評価を行う。

(様式5)

調 書

所 属		ふりがな 対象教員氏名	性別 ( )
職 名			
所有免許状		生年月日	年 月 日 ( 歳)
担当教科 持時間数		勤続年数	
校務分掌		特記事項	
職務歴等 (現在校まで全職歴についてわかる範囲で記入する)			
勤務校等	期間	勤務年数	勤務の概要 (校務分掌・指導状況・健康状況賞罰等)
	年 月 日から 年 月 日まで		
	年 月 日から 年 月 日まで		
	年 月 日から 年 月 日まで		
	年 月 日から 年 月 日まで		
	年 月 日から 年 月 日まで		
	年 月 日から 年 月 日まで		
	年 月 日から 年 月 日まで		

- 1 教育活動の状況
  - (1) 学習指導・教科指導
  - (2) 生徒指導
  - (3) 保護者との連携
- 2 対象教員の現状認識
- 3 校務分掌の遂行状況
- 4 現在までの対象教員への指導状況及び研修状況
- 5 校長の所見

作成者

平成 年 月 日

京都市立

学校長



備考 (1) 各項目について詳細に記載すること。

(2) 「5 校長の所見」欄には、当該教員の特に優れた能力・特技等を含めて記載すること。

(様式6)

年 月 日

(あて先) 京都市教育委員会教育長

所 属

職・氏名

㊟

意 見 書

指導力不足教員に対する指導等に関する要綱の規定により，私について指導力判定委員会の意見聴取が行われることに関し，下記のとおり意見を申し述べます。

記